

墨田区議会

自由民主党会報

発行
墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋1-23-20
発行責任者 田中邦友
編集責任者 中沢進

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

区民が主役の区政のために

めざすは改革!

墨田区議会自由民主党の新しい執行部体制も整い、気分も新たに、区民のための区政をめざしてスタートいたしました。そこで今日は、五月の臨時区議会で選出された中嶋常夫区議会議長、本内清監査委員、そしてわが会派幹事長に就任した田中邦友さんにお集まり願い、中沢進広報部長の司会で、それぞれの立場での抱負を語っていただきました。

司会:「今日は、新しい役職につかれた抱負や、区政・会派の運営にあたるお考えなどを伺いたいと思います。

司会:「まず中嶋議長からお願ひします。」

え、対応したいと考えています。

司会:「まあじつかり頑張ります。」

ガラス張りの区政を

本内:「私は、議会選出の監査委員という立場ですが、あくまでも区民の視点で、簡素で効率的な区政運営がなされないかねばならない決意しています。いま大事なことは開かれた区政をめざすことになります。雪印や三菱自動車によるように、たとえ一部でも隠し事があれば、区民の信頼を得ることができます。」

司会:「昨年はいろいろありましたからな……」

本内:「その意味では、いま外部監査制度を導入すべきかどうか議論がありましたが、外

部の人の声を取り上げること

はより緊張感を高め、透明性を確保するためには良い影響が期待できるのではないかと考えています。」

田中:「そうですね、どちらも重責ですから緊張のしっぱなしですね。幸い、中村光雄議員、小池武二議員、横口敏郎議員が副幹事長として支えてくださるの

で、ありがたいと思っていま

す。わが会派はペテンランから手まで、多士済々のメンバ

ーがそろっていますから、そ

の力を結集し、区民が主役の

区政を実現していきたい。

特に、行政改革、教育改革が

二本の柱です。」

司会:「そう、墨田区政の課題はいろいろありますが、やはり第一は『行政改革』でしょう。」

田中:「昨年来、八広小学校

でのシックハウス問題や老人

医療費の徴収ミス、出納閉鎖

後資金移動、名簿登録廃止

など、本当に区政の発展に貢献された西原、中村両議員の表彰が行われました。」

司会:「今こそ行政改革を

実現していきたい。

田中:「昨年来、八広小学校

でのシックハウス問題や老人

医療費の徴収ミス、出納閉鎖

後資金移動、名簿登録廃止

など、本当に区政の

発展に貢献さ

れました。」

木内:「そのとおり、きめ細

かく区民の要望をくみ上げていくことが、とても大事ですね。」

司会:「ありがとうございます。」

中嶋:「確かに、行政改革に取り組まなければなりませんね。平成十六年度には収支均衡していくと区長は言っているが、区債残高(借金)や、もちろんの基金(時金)の状況をみると、財政再建にはまだまだ、どうが否めない。改革の進捗状況をしっかりとみていくなくては……」

木内:「五十八課題の行政財政改革計画についても、で

きるものからいち早くやつて

いくこと。必要性のないもの

は勇気をもってやめること。

民間にできることは民間にと

うのが基本ですね。」

司会:「区営の保育園を民間化することは、わが会派自民党が真っ先に訴えてきたことですが、この五月に東向島の『あおやぎ保育園』で墨田区としてははじめて実施されましたね。」

田中:「わが会派は、通学区

域の自由化や『学期制の導入

など、教育環境の整備に努め

てきました。普通教室の冷房化もそうですね。一つの成果として学力向上をめざしていただけに、教育現場はもっと頑張って欲しいですね。」

木内:「最近、区内の多くの

学校を訪問するんですが、や

る気のある校長がいるところ

は、学校に入った瞬間に、雰

囲気が違うてことを感じま

す。一生懸命に頑張っている

校長や先生方を地域がもつと

支援することも大切ですね。」

司会:「そのためには何が必

要ですかね。」

木内:「まずは、安全を確保す

ること。その上で学校が地域

に開かれたものであることが

必要です。今まで以上に、教

育委員会も校長先生を側面か

ら支援していかなくてはなら

ないでしょ。大きな教育

改革の波に乗り遅れないよ

う、よほと頑張ってもらわな

いといませんね。」

中嶋:「そうですね。教育に

は家庭、学校、地域の連携が

何よりも大事だと思います。

まず、幼児教育からしつかり

とやっていく、これが大切だ

と思いますよ。」

司会:「ありがとうございます。」

中嶋:「墨田区が抱える様な

心気がよくわかりました。」

ところで中嶋議長、東京23

区の議長会ではいろいろ大変

でしよう。」

司会:「その成績は、四十九

ある自治体のうち墨田区は四十

二番目、ちよつとがつかりし

ましたね。」

中嶋:「学力が全てではない

けどやはり絶念なことです

ね。まあ、これをきっかけに

ましたね。」

木内:「これがきっかけに、

各校ごとに学力向上のため

具体的な取り組みをしてい

くことが必要です。」

田中:「わが会派は、通学区

の自由化や『学期制の導入

など、教育環境の整備に努め

てきました。普通教室の冷房化もそうですね。一つの成果として学力向上をめざしていただけに、教育現場はもっと頑張って欲しいですね。」

木内:「最近、区内の多くの

学校を訪問するんですが、や

る気のある校長がいるところ

は、学校に入った瞬間に、界

隈気が違うてことを感じま

す。一生懸命に頑張っている

校長や先生方を地域がもつと

支援することも大切ですね。」

司会:「そのためには何が必

要ですかね。」

木内:「まずは、安全を確保す

ること。その上で学校が地域

に開かれたものであることが

必要です。今まで以上に、教

育委員会も校長先生を側面か

ら支援していかなくてはなら

ないでしょ。大きな教育

改革の波に乗り遅れないよ

う、よほと頑張ってもらわな

いといませんね。」

中嶋:「そうですね。教育に

は家庭、学校、地域の連携が

何よりも大事だと思います。

まず、幼児教育からしつかり

とやっていく、これが大切だ

と思いますよ。」

司会:「ありがとうございます。」

中嶋:「墨田区が抱える様な

心気がよくわかりました。」

ところで中嶋議長、東京23

区の議長会ではいろいろ大変

でしよう。」

司会:「その成績は、四十九

ある自治体のうち墨田区は四十

二番目、ちよつとがつかりし

ましたね。」

中嶋:「学力が全てではない

けどやはり絶念なことです

ね。まあ、これをきっかけに

ましたね。」

木内:「これがきっかけに、

各校ごとに学力向上のため

具体的な取り組みをしてい

くことが必要です。」

田中:「わが会派は、通学区

の自由化や『学期制の導入

など、教育環境の整備に努め

てきました。普通教室の冷房化もそうですね。一つの成果として学力向上をめざしていただけに、教育現場はもっと頑張って欲しいですね。」

木内:「最近、区内の多くの

学校を訪問するんですが、や

る気のある校長がいるところ

は、学校に入った瞬間に、界

隈気が違うてことを感じま

す。一生懸命に頑張っている

校長や先生方を地域がもつと

支援することも大切ですね。」

司会:「そのためには何が必

要ですかね。」

木内:「まずは、安全を確保す

ること。その上で学校が地域

に開かれたものであることが

必要です。今まで以上に、教

育委員会も校長先生を側面か

ら支援していかなくてはなら

ないでしょ。大きな教育

改革の波に乗り遅れないよ

う、よほと頑張ってもらわな

いといませんね。」

中嶋:「そうですね。教育に

は家庭、学校、地域の連携が

何よりも大事だと思います。

まず、幼児教育からしつかり

とやっていく、これが大切だ

と思いますよ。」

司会:「ありがとうございます。」

中嶋:「墨田区が抱える様な

心気がよくわかりました。」

ところで中嶋議長、東京23

区の議長会ではいろいろ大変

でしよう。」

司会:「その成績は、四十九

ある自治体のうち墨田区は四十

二番目、ちよつとがつかりし

ましたね。」

中嶋:「学力が全てではない

けどやはり絶念なことです

ね。まあ、これをきっかけに

ましたね。」

木内:「これがきっかけに、

各校ごとに学力向上のため

具体的な取り組みをしてい

くことが必要です。」

田中:「わが会派は、通学区

の自由化や『学期制の導入

など、教育環境の整備に努め

てきました。普通教室の冷房化もそうですね。一つの成果として学力向上をめざしていただけに、教育現場はもっと頑張って欲しいですね。」

木内:「最近、区内の多くの

学校を訪問するんですが、や

る気のある校長がいるところ

は、学校に入った瞬間に、界

隈気が違うてことを感じま

す。一生懸命に頑張っている

校長や先生方を地域がもつと

支援することも大切ですね。」

司会:「そのためには何が必

要ですかね。」

木内:「まずは、安全を確保す

ること。その上で学校が地域

に開かれたものであることが

必要です。今まで以上に、教

育委員会も校長先生を側面か

ら支援していかなくてはなら

ないでしょ。大きな教育

改革の波に乗り遅れないよ

う、よほと頑張ってもらわな

いといませんね。」

暑中お見舞い申し上げます

(五十音順)

阿部 幸男
京島3-51-14
☎3617-2284沖山 仁
京島1-39-1-918
☎3616-1050木内 清
本所2-9-5
☎3624-8235小池 武二
八広4-6-506
☎3617-3184坂下 修
向島3-18-10
☎3626-2524桜井 浩之
立花5-28-3
レジデンス石原210
☎5631-7757上田 良仁
墨田5-33-4
☎3611-4003田中 邦友
八広1-39-17
☎3616-7014出羽 邦夫
八広4-11-19
☎3616-5834中澤 進
堀通1-5-9
☎3611-0740中嶋 常夫
菜平4-5-16
☎3622-7894中村 光雄
西国4-7-10-403
☎3632-7870西原 文隆
押上1-25-5
☎3622-9570早川 幸一
石原3-19-1
☎3622-7008樋口 敏郎
八広3-6-3
☎3617-4129藤崎よしのり
向島5-42-3
☎3623-0010松野 弘子
墨田3-30-7
☎3610-3863

ご相談は
もよりの議員へ
お気軽に

第2回定例会での質問概要

平成16年6月14日～30日

代表質問



田中邦友

●区長の区政に取り組む姿勢について

【問】「区民が主役の区政」をめざして、行財政改革の断行、大胆な人材の登用、開かれた区政の実現、これらを着実に実行することが大切と考える。

【答】今後、区政への信頼を損ねぬよう全力を尽くす。今後、区政への信頼を損ねぬよう全力を尽くす。今後、区政への信頼を損ねぬよう全力を尽くす。

【問】区長の区政への信頼回復が急務である。区政の実現、これらを着実に実行することが大切と考える。

【答】今後、区政への信頼を損ねぬよう全力を尽くす。今後、区政への信頼を損ねぬよう全力を尽くす。

●新基本構想の策定について

【問】今回の改定に当たっては、選択と集中を限が強化された。個々の学校の課題に即した助言をしていかたい。

【答】指摘のとおり、命の大切さや規範意識を醸成するために、道徳教育を一層充実していくことについて区長に伺う。

【問】明確に打ち出した戦略的な構想とすべき。また、区民と共にした憲章として、区内にわかりやすいものにすべき。

【答】将来像を実現するための戦略的な取り組みの方向性も盛り込みたい。また、区内にわかりやすいメッセージ性のある内容にしたい。

●特別区制度改廃について

【問】制度改廃について、政治的な働きかけを含めて、区民を巻き込んだ運動とするため、どのような具体的な方策を、いつ行うのか。

【答】理論構築を進め一方、議会と連携し都知事・都議会へ要請を進めていく。さらにP.R.資料が次第に運動を展開していく。

【問】明確に打ち出した戦略的な構想とすべき。また、区民と共にした憲章として、区内にわかりやすいものにすべき。

【答】将来像を実現するための戦略的な取り組みの方向性も盛り込みたい。また、区内にわかりやすいメッセージ性のある内容にしたい。

●教科書の採択について

【問】平成十三年の中学歴史教科書の採択に当たって、適正な採択を求める陳情を、議会として採択したが、その趣旨が生かされず残念である。

【答】議会の議決と教育行政の異なる採択についてどのようにお考えか。採択手続きの適正化等、基本的にどのように対応するのか。採択における公正の確保について広く保護者、区民各層の意見を取り入れていく必要がある。

【問】「やさしいまち宣言」も良いが、もっと具体的にわかりやすく、道徳教育の先進区になることについて区長に伺う。

【答】今後も、「やさしさ」と「おもいやり」の心をもち、明日の墨田を担う子どもたちを育成するために、教育委員会を中心に行き、家庭、地域が一体となった道徳教育の一層の充実を図り、さらには「すみだやさしいまち宣言」の実践活動を通じて、「意見の趣旨が反映されるよう努めたい。

一般質問



早川幸一

●教育改革への取り組みについて

【問】部教育委員会が発表した共通学力テストの結果をどう評価しているか。開発的の学力向上プロジェクトはどう実施していくのか。

【答】学校教育は大きな変革期を迎えており、地域に開かれた学校をどうつくっていくのか。校長の指導力の強化を一層図るべきである。また、教育委員会には校長のよき相談相手になることが求められている。

【問】区全体の学力向上が課題と認識し、授業の改善に努める。学力定着状況を調査し、向上策を指導する。

【答】今後、より効果のある開かれた学校づくり

●道徳教育の先進区になる考え方について

【問】毎日の新聞やテレビを見るのがつらくなるような事件が続発しており、もはや一刻の猶予もできない。厳しい現実を直視したとき、道徳教育の充実こそ、区政の重要な施策ではないか。

【答】墨田に住めば、青少年はきっとと道徳教育を受けられ、温もりのある家庭、社会生活が万全であるという、このような良いことが喧伝されるよう、我が街、墨田をつくりあげたい。

●道徳教育の先進区になる考え方について